

せき・呼吸困難（呼吸が苦しい）とき

せきには、かぜや気管支炎などの病気が原因のもの、異物が入り込んでおきるものがあります。せきの様子、全身の状態をよく観察しましょう。



せき・ゼーゼーする

- せきがあるが機嫌がよく、食欲もある
- 時々コンコンというせき

- ゼーゼー、ヒューヒューという
- 息苦しそう
- オットセイの鳴き声のようなかすれたせき
- 呼吸がはやい
- 肩で息をしている
- グッタリしている
- 水分をとりたがらない
- 顔やくちびるの色が青い
- おなかと胸がシーソーのように上下する
- 眠ってられず、苦しうに起きてくる

翌日かかりつけ医を受診

ひとつでもあてはまるときは救急医療機関を受診

誤飲したとき

大事なことは、「何をどれだけ」飲み込んだかです。受診時には、製品の成分がわかるものを確認し、持参しましょう。応急処置も飲み込んだものによって異なりますので、確認してから行うようにしてください。



誤飲

- たばこを少しだけ(2cm以下)、クレヨン、石けん、紙、ビニール、鉛筆の芯、線香をかじった
- インク、絵の具、墨汁、化粧水をなめた

- たばこを食べた(2cm以上)
- たばこを捨てたジュース缶などの残りを飲んだ
- トイレ洗剤、漂白剤、殺虫剤などを飲んだ(呼気に異臭がある)
- 灯油、ガソリン、ベンジンを少量でも飲んだ
- マニキュア、除光液を飲んだ
- ボタン電池、医薬品、ホウ酸団子を飲み込んだ
- 嘔吐が止まらない(吐いたものに特異な臭いがある)
- くちびるや口の周辺がただれている

- 飲み込んだとたん、せきが始まり呼吸の状態がおかしい
- 顔色が悪い、けいれん、意識がない

翌日かかりつけ医を受診

ひとつでもあてはまるときは救急医療機関を受診

ひとつでもあてはまるときは直ちに救急車を呼ぶ

県くらし保健福祉部子ども家庭課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-2763



鹿児島県

知っていますか?
上手な医療のかかり方
～医療機関への適切な受診～

受診が必要か判断に迷ったときは?

賢く受診
しましょう

小児救急電話相談 #8000

県では、休日や夜間における子どもの急な病気やけがについて、看護師等が応急処置や医療機関の受診の必要性などの助言を行う「鹿児島県小児救急電話相談」を実施しています。

相談対象者 おおむね15歳未満の子どもの保護者等

受付時間 ●平日・土曜日 19時～翌朝8時 ●日・祝・年末年始 8時～翌朝8時

相談窓口の電話番号 「#8000」番(又は099-254-1186) ※携帯電話からも利用可能

こどもの救急

<http://kodomo-qq.jp/> こどもの救急

公益社団法人 日本小児科学会が作成しているホームページです。
夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。



予防接種や健康診断を受けましょう!!

予防接種は病気から体を守り、感染症の流行を防ぐために行います。各予防接種によって対象年齢や接種方法などが決められていますので、適切な時期に受けましょう。

乳幼児健診は、医師や保健師などに相談できる機会です。育児で分からないことや、悩んでいることは、遠慮せず何でも聞きましょう。

こんな時どうする？ 子どもの救急対応マニュアル

病院や診療所がお休みの夜間、日曜日、祝祭日などにお子さんの具合が悪くなったとき、病院に行くべきか待ってもいいか、おおよその目安を提供します。

発熱のとき

発熱 (38℃以上)

- 発熱以外に重い症状がない
- 水分や食事がとれている
- 熱があっても夜は眠れる
- 機嫌がよい
- 遊ぼうとする

翌日かかりつけ医を受診

- 生後3か月未満
- 顔色が悪く、ぐったりしている
- 激しく泣き、あやしても泣き止まないでくずっている
- 呼吸の様子がおかしい
- 耳やのどを激しく痛がる
- 水分を受け付けけない、おしっこの回数があきらかに減っている
- 嘔吐や下痢を繰り返している

ひとつでもあてはまるときは救急医療機関を受診

けいれん(ひきつけ)をおこしたとき

まずはあわてないで！平らなところに寝かせ、衣服を緩めてください。
けいれんの継続時間を計測し、けいれんがおさまったら熱を測ります。

けいれん(ひきつけ)

- 熱に伴ってけいれんをおこしたことが過去にある
- 今回は5分以内で止まった
- 意識がいつもと同じ状態に戻っている

翌日かかりつけ医を受診

- 初めてのけいれん
- けいれん時の体温が38.0℃以下だった
- けいれんに左右差がある
- 半日に2回以上けいれんがおこった
- 生後6か月未満

ひとつでもあてはまるときは救急医療機関を受診

- けいれんのあと、呼んでも返事をしない
- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い
- 5分以上けいれんが続く

ひとつでもあてはまるときは直ちに救急車を呼ぶ

嘔吐(吐いた)とき

嘔吐

- 吐いたあと、ケロツとしている
- 水分がとれる
- 下痢や熱がなく、元気である

翌日かかりつけ医を受診

少し落ち着いてから、脱水にならないように少しずつ経口補水液などの水分を補給しましょう。

- 吐いた物に血液や胆汁(緑色)がまざる
- 何度も繰り返す
- 脱水症状が見られる
- 強い頭痛や腹痛を伴っている
- 強く頭を打った後である

ひとつでもあてはまるときは救急医療機関を受診

頭を打ったとき

頭を打った

- すぐに泣き出し、泣き止んだ後は元気になった
- 意識がしっかりしている

翌日かかりつけ医を受診

頭を打ったときは、遅れて症状が出る場合があります。当日の入浴は控え、安静にして少なくとも1~2日は注意深く観察しましょう。

- 吐く、または吐き気や気持ち悪さを訴える
- 頭を打った後、しばらくの間意識がなかった(もしくは泣かなかった)
- ぼんやりして、ウトウトしている
- 顔色が悪い

ひとつでもあてはまるときは救急医療機関を受診

- 意識がない
- ぐったりしている
- 目や鼻から出血がある
- けいれんをおこした

ひとつでもあてはまるときは直ちに救急車を呼ぶ